

Berkeley Summer Sessions (Regular Courses または Summer English Language Studies)

及び

UC Davis Global Study Program-Summer Sessions

参加学生募集要項

2019.11

2020.1.7 更新

2010.1.8 更新

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ずウェブサイトを確認すること。

Berkeley Summer Sessions について

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-BerkeleySummer.html>

UC Davis Global Study Program-Summer Sessions

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-UCDavis.html>

1. -1 概要 (Berkeley Summer Sessions)

Berkeley Summer Sessions は、カリフォルニア大学バークレー校（以下 UC バークレー）が実施するサマーセッションである。毎年夏に、5つの異なる期間のセッション（A～E）で、600を超える多様な分野の授業が開講される。受講学生の多くは UC バークレーの学生だが、全米および世界各地からも 4,000 名近くの学生を受け入れている。世界の有力大学の 1 つである UC バークレーの授業に参加でき、米国および世界の学生と交流が可能である。東京大学は Berkeley Summer Sessions の提携校となっており、講義を受講するもの（Regular Courses）と英語学習を目的とするもの（Summer English Language Studies）の 2 タイプで参加学生を募集する。

直接応募も可能だが、東京大学を通じて応募した場合、以下のような利点がある。

- ①東京大学から情報提供や手続きのサポートを受けることができる。
- ②東京大学・その他の支援団体等からの奨学金受給の可能性はある。
- ③東京大学が実施するオリエンテーションや交流会等へ参加できる。

Berkeley Summer Sessions の各コースの詳細は、UC バークレーのウェブサイトで確認すること。

<https://classes.berkeley.edu/> （2020 年夏季のスケジュールは 2019 年 12 月 15 日公開予定）

先方の作成した動画による概要説明も視聴可能。

<https://www.youtube.com/watch?v=JlpBc3tRzJ0>

Berkeley Summer Sessions 全体についても UC バークレーのウェブサイトで確認すること。

<http://summer.berkeley.edu/>

日程等：

セッション		開始日	終了日	日数	内容
A	First Six-Week Session	May 26	July 2	38 日間	Predominantly humanities, social sciences & business courses
B	Ten-Week Session	June 8	August 14	68 日間	Predominantly foreign language & mechanical engineering courses
C	Eight-Week Session	June 22	August 14	54 日間	Predominantly science, engineering, economics and architecture courses
D	Six-Week Session	July 6	August 14	40 日間	Predominantly humanities, social sciences & business courses
E	Three-Week Session	July 27	August 14	19 日間	English as Second Language courses only

(注意) 期間が重複する複数のセッションにも参加可能。ただし「For visa purpose, students must maintain full-time course enrollment (3~10 units, depending on what session you enroll in).」である。詳細は次のページを確認すること。<https://internationaloffice.berkeley.edu/students/summer/full-time>

会場 : UC Berkeley (アメリカ/バークレー)

対象 : 学部学生・大学院学生

募集人数 : Regular Courses と Summer English Language Studies でそれぞれ 30 名程度(合計最大 60 名)

語学要件 : Regular Courses は TOEFL iBT 80 / PBT 600 / IELTS 6.5 / TOEIC 685 を満たすこと

Summer English Language Studies は語学要件無し

※派遣先大学から付与される単位は、必ずしも本学の単位への振り替えが保証されるものではない。

※本学からの推薦後、派遣先大学により選考される場合がある。

1. -2 概要 (UC Davis Global Study Program-Summer Sessions)

カリフォルニア大学デービス校 (UC Davis) がパートナー大学の学生向けに実施する The Global Study Program (GSP)の Summer Sessions の募集を行う。英語能力により Full-Time Academic Credit または英語学習を主な内容とする GSP Preparation Program に分かれ、様々な内容のコースを関心とレベルに応じて選択できる。プログラムの詳細は UC Davis のウェブサイト参照すること。

<https://summer.ucdavis.edu/>

日程 : 2020 年 6 月 22 日~2020 年 7 月 31 日 (Summer Session I) (40 日間)

2020 年 8 月 3 日~2020 年 9 月 11 日 (Summer Session II) (40 日間)

2020 年 6 月 22 日~2020 年 9 月 11 日 (Summer Session I と II) (82 日間)

会場 : UC Davis (アメリカ/デービス)

対象 : 学部学生・大学院学生 (大学院レベルのコース受講を希望する大学院学生は、学内選考通過後の Online application を終えてから UC Davis 側の承諾を得る必要がある。)

募集人数 : 20 名程度

成績要件 : GPA3.0 以上。UTAS で表示されるスコアとは異なるので注意。(以下のウェブサイトの「STEP4 留学に必要な条件」を参考に計算すること)

<http://www.fulbright.jp/study/schedule/index.html>

語学要件 : Full-Time Academic Credit (Track 1) は TOEFL iBT80 ・ TOEFL PBT 550 ・ IELTS 7

Academic Credit/Advanced ESL (Track 2)は TOEFL iBT71 ・ TOEFL PBT 530 ・ IELTS 6.5

GSP Preparation Program (Prep)は TOEFL iBT61 ・ TOEFL PBT 500 ・ IELTS 6.0

※提供予定のコースは UC Davis のウェブサイト (<https://summer.ucdavis.edu/courses/g2g>) で確認できる。

※F-1 学生ビザで就学する条件として、受講コースの Academic Credit の合計が、セッション I または II のみの場合は 6~8 unit, セッション I と II 両方の場合は 12~13 unit となる必要があるので注意すること。

※派遣先大学から付与される単位は、必ずしも本学の単位への振り替えが保証されるものではない。

※本学からの推薦後、派遣先大学により選考される場合がある。

2. 資格・条件

以下の資格・条件をすべて満たすこと。

- (1) 申請時に本学の学部又は大学院の正規課程に在籍しており、留学期間中を通じて在学する者。(プログラム期間中に休学中の者は参加できない。)
- (2) 本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。
- (3) 本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、参加時の所属部局 (学部・研究科) 等の判断による。当プログラムへの参加に際し、特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。

※教養学部前期課程に関しては、本募集要項プログラムの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる。また、欠席による追試験の申請理由にもならないが、詳

細は教養学部教務課に確認すること。

- (4) 参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、当プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、参加時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。
- (5) 参加時に所属する予定の部局の担当部署に相談し、申請前にプログラム参加に関する学務上の留意点の説明を十分受け、申請書の所定の欄に署名をもらい、納得した上で申請すること
- (6) UC Berkeley または UC Davis の定める英語能力を有すること。(1. の語学要件参照。)
- (7) 学内選考通過後の、留学プログラムへの応募手続き（プログラムによっては宿泊先の手配も）等は、英語を使用し、学生本人の責任で、ウェブやメールを通じて海外大学に対して直接行うことになる。このため各種提出書類の準備や締切日の確認等を自ら主体的に行える者であること。
- (8) 【保険への加入】プログラムへの参加が決定した場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入すること（加入に要する経費は自己負担となる）。本保険に加入することを参加の条件とする。
- (9) 【派遣留学生危機管理サービスへの加入】所属部局により、プログラム参加中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス(株)の派遣学生危機管理サービス OSSMA (Overseas Student Safety Management Assistance)への加入を義務づけられる場合がある。プログラムへの参加が決定した場合、OSSMA への加入については、所属部局の指示に従うこと（加入に要する経費は自己負担となる。）

【奨学金受給における資格・条件】

本プログラムの奨学金は、個人・法人等からの寄附金や奨学金プログラムによる資金が充てられているため、資金提供者との懇談会への出席、報告書の提出、アンケート調査への協力等の依頼があった場合には、可能な限り協力すること。

3. 費用・奨学金

(費用: Berkeley Summer Sessions の 2019 年夏季の例、変更される予定)

- Tuition fee: USD 550 per unit (students usually take 3 or 5 units)
 - Registration Fee: USD 450
 - One-time, non-refundable Document Management Fee: USD 58
 - International Service Fee: USD 330
 - Accommodation: varies with duration and accommodation facility (人気の宿泊先 (International House) の例は、Session C の期間、10 食/週付きのダブルルームで USD 3,025 など)
- 奨学金を超える部分の授業料・宿泊料・航空賃・教材費・ビザ取得費用・保険料等、参加に要する経費は自己負担となる。

(費用: UC Davis Global Study Program-Summer Sessions)

- Tuition and Fees: USD 3,748 (Session I, II) または USD 7,495 (For both Sessions) (予定。また、本学の学生向けの割引きとして、1 session あたり USD150 が適用される予定。)
- Application Fee: Waived
 - 加えて、以下の費用は自己負担となる。
 - 航空費
 - Estimated Living Expenses (USD1,995/session)
 - その他費用

(奨学金)

概要は(1)~(2)の通り。

- (1) 別添 1 「JASSO 奨学金の受給資格・要件について」の受給資格・要件を満たす者のうち、希望者に、授業料・宿泊費・航空賃の一部として奨学金を最大 48 万円 (予定) 支給する。金額 (予定) については、下表「期間別奨学金金額」も確認すること。詳細は別添 1 参照のこと。
- (2) 奨学金の支給は参加費用の支払い締切日の後となったり、プログラム終了後となったりする場合がある。参加費を一旦全額各自で支払う必要がある場合もあるため、家族に相談する等の準備を進めておく

こと。

表：期間別奨学金金額 (Berkeley Summer Sessions)

プログラム期間		May 26 - July 2 (38 日間)	May 26 - August 14 (81 日間)	June 8 - August 14 (68 日間)	June 22 - August 14 (54 日間)	July 6 - August 14 (40 日間)	July 27 - August 14 (19 日間)
学部学生	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たす場合	JPY 320,000	JPY 480,000		JPY 320,000		JPY 160,000
	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たさないまたは場合	JPY 160,000	JPY 240,000		JPY 160,000		JPY 80,000
大学院学生	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たす場合	JPY 160,000	JPY 240,000		JPY 160,000		JPY 80,000
	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たさない場合	(奨学金の支給は無い)					

表：期間別奨学金金額 (UC Davis Global Study Program-Summer Sessions)

		Session I のみ	Session II のみ	Session I と II 両方
学部学生	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たす場合	JPY 320,000	JPY 320,000	JPY 480,000
	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たさない場合	JPY 160,000	JPY 160,000	JPY 240,000
大学院学生	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たす場合	JPY 160,000	JPY 160,000	JPY 240,000
	成績要件 (別添 1 の 2.⑥) を満たさない場合	(奨学金の支給は無い)		

※上の表は総額であり、一括ではなく月ごとの支給となる可能性がある。また、財源等の詳細は別添 1 を参照すること。

※米国大学のプログラム (本募集に限らない) に参加を希望する者は、米国の NPO 法人 Friends of UTokyo, Inc. (FUTI) による奨学金にも同時に応募可能である。FUTI の奨学金への応募を希望する者は、FUTI のウェブサイト (<http://www.friendsfutokyo.org/>) を確認の上、本募集への応募と同時期に FUTI へ直接応募すること。(12 月中旬頃募集開始、2 月末締切予定。)

※国費外国人留学生については同制度上、本奨学金は受給できない。ただし、本プログラム参加に係る参加費及び旅費の実費 (いずれも食費等の生活費を除く) については、その全部または一部を大学が支援する場合がある。詳細は所属部局 (学部・研究科) の担当部署に確認すること。希望者は、UTAS 申請時の 11.特記事項欄に「実費支援希望」と記載すること。(奨学金受給希望状況確認書の提出は不要。)

4. スケジュール

時期	予定・学生のアクションなど
2019 年 12 月上旬まで	募集要項公開 ・提出締切までにスコアが取得できるよう、必要な英語能力試験 (TOEFL iBT 等) に申し込むと良い。既に取得している場合も、有効期限が切れていないか

	確認すること。	
12月4日(本郷) 12月5日(駒場)	説明会開催 (本募集を含む夏季開催のプログラムについての説明会を、昼休みの時間帯に実施する) https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/top-events-goglobal2019_00012.html	
1月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・応募プログラムの検討(各プログラムのウェブサイト、本学 Go Global ウェブサイト掲載の過去の参加者の報告書なども参考にする) ・2020年のプログラム参加時に所属部局の授業スケジュールや個人の予定等を勘案し、参加可能な期間を調べる ※「2. 資格・条件」の【学内における資格・条件】(2)(3)参照 ・書類の準備→短期間で揃わないものもあるので注意すること。 	
1月末～2月上旬頃	学内応募書類提出締切 <ul style="list-style-type: none"> ・締切日は所属部局により異なるため、必ず各自で応募時に所属する部局の担当部署に確認すること。 ※東京大学での募集期間は派遣先のウェブサイトに記載された募集期間と異なるため、注意すること。	
2月中旬～3月上旬頃	学内選考(書類選考) <ul style="list-style-type: none"> ・選考に関する連絡があるので、Eメールや電話に注意しておく。 ・学内選考を通過した場合に備え、プログラムへの応募書類を準備しておく 「6. 学内選考通過～プログラム参加決定後の留意事項」【プログラム参加手続き及び渡航手続き】参照	
2月下旬～	(学内選考を通過した場合) <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の受給資格を得たことになる。(プログラムへの参加保証ではない。プログラムに参加できない場合や、所定の条件を満たさない場合、奨学金を受給できない。) ・派遣先への応募手続きを行い、受入審査を受ける。 	(学内選考で不採択となった場合) <ul style="list-style-type: none"> ・※引き続き短期留学を検討する場合 ・8月頃に実施予定のグローバルキャンパス推進本部のサマープログラム等に応募する(4月以降学内募集予定)。 ・その他のプログラムに個人で応募する。
4月以降	(派遣先での受入審査にパスした場合) <ul style="list-style-type: none"> ・Admission Packetを受領する。 ・プログラム参加の準備を進める。 ・プログラム料を支払う。 ・学内での渡航前必要手続きを行う。 <参考：学内選考により派遣候補となった場合、派遣先に行う手続きのセッションごとの締切_Berkeley Summer Sessions (2019年夏季実施分の例) > A: April 17, B: May1, C: May 15, D: May 29, E: June 19	
プログラム終了後	・報告書類等を提出する	—

5. 選考

- (1) 東京大学グローバルキャンパス推進本部で学内選考(書類審査)を行い、通過した学生を参加候補者として主催大学に推薦する。
- (2) 選考結果は、Eメールで学生本人及び所属部局担当部署に通知する。
- (3) やむを得ない事情で申請を取り下げる場合には、遅滞なく本部国際交流課へ知らせること。

6. 学内選考通過～プログラム参加決定後の留意事項

【プログラム参加手続き及び渡航手続き】

参加手続き及び渡航手続き、査証(ビザ)取得手続き等は、派遣先大学の指示に従い、また、留学先の国や地域の大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とする。

【学内での手続き】

- (1) 所属部局の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属部局毎に異なる。)
- (2) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者に迷惑をかけないように努めること。
- (3) 申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。必要事項の連絡の際に必要となる。
- (4) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、早急に本部国際交流課 (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) に連絡すること。
- (5) そのほか、東京大学・派遣先大学が指示する注意事項に従うこと。

【保険への加入】

前述のとおり、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会 (JEES) の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入すること (加入に要する経費は自己負担となる)。加入に当たっての手続き等は、プログラム参加決定学生に追って連絡する。

【留学のための情報、危機管理】

一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html>) 特に、[危機管理ガイドブック](#)は必ず熟読すること。

7. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は、東京大学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

8. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から 2 週間以内 (必着) に本部国際交流課が定める報告書 (所定様式) を本部国際交流課へ提出すること。なお、提出された報告書類は、学内外の広報や学生の参考資料等に活用する場合があるため、個人情報の観点等を十分に鑑み、出版物・ホームページ等に掲載可能な内容とすること。
- (2) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、東京大学の国際化に関する業務への協力 (留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等) を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

9. 問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) プログラム全体、奨学金に関すること：
東京大学本部国際交流課 学生派遣チーム (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)
- (2) 締切日など申請の手続きに関すること：応募時の所属部局の担当部署
- (3) 単位認定等、本学での学務関係の事項：留学時の所属部局の担当部署
各部局の担当部署一覧 <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>
- (4) プログラムの内容の詳細等：
当プログラムのウェブサイトに記載の問い合わせ先 <http://summer.berkeley.edu/> (UC バークレー)
<https://summer.ucdavis.edu/> (UC デービス)

10. 応募方法・応募書類

- (1) 応募時に所属する部局の応募締切日までに学務システム (UTAS) からの電子申請を完了させること。
※ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられるため、申請できない。また大きな不備のある申請は締切前に申請を完了しても受理されない。
※ 東京大学での募集期間は派遣先のウェブサイトに記載された募集期間と異なるため、注意すること。
※ UTAS の「2.基本情報」及び「4.家族等関係者の連絡先【日本国内の緊急連絡先】」は申請画面では記

入・変更できない。そのため空欄または変更が必要な場合は、所属部局の担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。

- (2) 希望するセッションを「8.留学希望プログラム」の「備考」欄に記載すること。(例：セッションBとセッションC、セッションIIのみ、など)
- (3) 本プログラムのうち Berkeley Summer Sessions の ESL コース以外の全ての申請には、特別な事情のない限り語学能力証明書の提出を必須とする。
- (4) 電子申請時に「16. 添付資料」でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

提出書類	対象者	提出方法・備考
・学外成績証明書	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で学位を取得した者が該当する。
・パスポート顔写真ページの写し	不要	ただし学内選考通過後の派遣先への手続きで速やかに必要になる場合がある。
・語学能力証明書	Berkeley Summer Sessions の ESL コース以外全員	Berkeley Summer Sessions の English Language Studies の希望者は、提出しない理由としてそれを「9. 語学能力」に入力すること。
TOEFL iBT、IELTS	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。(注1) 参照。
TOEFL iBT、IELTS 以外	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。(注2) 参照。
※特別な事情で英語能力試験等を受験していない場合((注3) 参照)	該当者のみ	電子申請時に「9. 語学能力」に入力すること。
・誓約書	全員	指定書式(ダウンロード)を 記入・署名後 スキャンしたPDFを「16.添付資料」へアップロード。申請時未成年は保証人の署名も必要。
・グローバルキャンパス推進本部担当海外派遣プログラム申請に係る留意事項確認書	全員	(注4) 参照。
・奨学金受給希望状況確認書	該当者のみ	詳細は別添1参照。 記入後 スキャンしたPDFを「16.添付資料」へアップロード。

(注1) 語学能力証明書 (TOEFL iBT, IELTS) (2020年2月6日 (木) 時点で、有効期限内のものとする)

次のいずれかを提出すること。

- ・ TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの写し (TOEFL については受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする)。

なお、各部局での締切日までにスコアの写しを提出できない場合、**2020年2月6日(木)正午まで【必着】**は本部国際交流課へスコアの写しを提出することを認める。スコアの写しの差替えを希望する場合も同様とする。(メールで提出すること。宛先：studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

(注2) 語学能力証明書 (TOEFL iBT, IELTS 以外)

<UC Davis の場合>

TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアを所持していない者や、TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアに加えて他の語学能力証明書を持っている者は、以下のいずれかを提出することができる。ただし、UC Davis への申請手続き (2020年度は3月15日締切予定) までに、1-2 概要に記載した語学要件 (TOEFL iBT・TOEFL PBT・IELTS のみ受付られる) を満たす語学証明書が必要になる。そのため、TOEFL iBT 及び IELTS のスコアを所持していない者は、学内申請の結果を待たず、早

めに取得することを推奨する。

- ・ TOEFL ITP、TOEIC スコアの写し、または実用英語技能検定の合格証。
- ・ その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写し及び、その英語能力試験等に関する説明文書（様式任意。ただし A4 サイズ）。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
- ・ 英語以外の語学能力試験のスコアの写し。

<UC Berkeley の場合>

TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアを所持していない者や、TOEFL iBT または IELTS（アカデミック・モジュール）のスコアに加えて他の語学能力証明書を持っている者は、以下のいずれかを提出することができる。

- ・ TOEIC スコアの写し（Regular Courses・English Language Studies 両方で使用可能）、または実用英語技能検定（English Language Studies のみで使用可能）の合格証。
- ・ その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写し及び、その英語能力試験等に関する説明文書（様式任意。ただし A4 サイズ）。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
- ・ 英語以外の語学能力試験のスコアの写し。
- ・

なお、UC Davis、UC Berkeley ともに各部局での締切日までにスコアの写しを提出できない場合、**2020年2月6日（木）正午まで【必着】**は本部国際交流課へスコアの写しを提出することを認める。スコアの写しの差替えを希望する場合も同様とする。（メールで提出すること。宛先：studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）

【注3】特別な事情で英語能力試験等を受験していない場合

特別な事情（英語圏の高等学校を卒業、英語コースに在籍等）により、英語能力試験等を受験していない場合は、その旨を、電子申請画面の「9. 語学能力」の①または②に記入すること。

【注4】グローバルキャンパス推進本部担当海外派遣プログラム 申請に係る留意事項確認書

- ・ 指定書式（ダウンロード）を申請書（UTAS 上の電子申請）の内容と同一になるように記入し、派遣時所属部局担当者の署名をもらった後、スキャンした PDF をアップロードすること。署名を貰う際は申請書（UTAS 上の電子申請、全ページ）のプリントアウトも必ず持参すること。
- ・ 派遣時所属部局及び申請者の署名がない確認書については、書類不備とみなし申請を認めないので注意すること。
- ・ 派遣時所属部局担当者の署名をもらった後、申請書（UTAS 上の電子申請）を変更したことが判明した場合、不採択となる。

【電子申請応募先】

学務システム（UTAS）にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申し込むこと（「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと）。

◇ 学務システム（UTAS）：<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

◇ 海外派遣プログラム申請の手引き（PDF）：<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400099994.pdf>

【申請書類指定書式のダウンロード先】

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。（以下のいずれのページでも、ダウンロードできる書式は同一である。）

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-BerkeleySummer.html>

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-UCDavis.html>